

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)
信託期間	2017年3月31日から2022年2月21日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 L OファンズIV-コーポレート・ハイブリッド4 (JPYヘッジクラス) 世界各国の企業が発行するハイブリッド証券等 マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として世界各国の企業が発行するハイブリッド証券に投資します。 ■原則として当ファンドの信託期間内に繰上償還等が期待される銘柄に投資します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 ■主要投資対象とする外国投資信託証券の運用は、ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント (ヨーロッパ) リミテッドが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年4回 (原則として毎年2月、5月、8月、11月の20日。休業日の場合は翌営業日) 決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子、配当等収益のいずれか多い金額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# 世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2017-03

【愛称:メジャー・スピリット17-03】

【償還 運用報告書(全体版)】

第10作成期 (2021年8月21日から2022年2月21日まで)

第 19 期 / 第 20 期

第19期：決算日 2021年11月22日

第20期：償還日 2022年2月21日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行いました。ここに当作成期の運用状況等をご報告いたします。皆さまのご愛顧ありがとうございました。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2017-03【愛称：メジャー・スピリット17-03】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 設定以来の運用実績

決算期	(分配落)	基準価額			受益者利回り	公社債組入比率	投資信託証券組入比率	元本残存率
		税込分配金	期中騰落額	期中騰落率				
(設定日) 2017年3月31日	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1期(2017年5月22日)	10,147	0	147	1.5	10.1	0.0	98.7	99.9
2期(2017年8月21日)	10,355	30	238	2.3	9.8	0.0	97.8	97.3
3期(2017年11月20日)	10,506	30	181	1.7	8.8	0.0	97.9	92.5
4期(2018年2月20日)	10,490	30	14	0.1	6.5	0.0	98.0	85.9
5期(2018年5月21日)	10,428	30	△ 32	△0.3	4.8	0.0	97.9	76.8
6期(2018年8月20日)	10,385	30	△ 13	△0.1	3.8	0.0	98.0	68.4
7期(2018年11月20日)	10,286	30	△ 69	△0.7	2.8	0.0	97.5	62.4
8期(2019年2月20日)	10,371	30	115	1.1	3.1	0.0	97.9	58.7
9期(2019年5月20日)	10,476	30	135	1.3	3.3	0.0	98.0	53.6
10期(2019年8月20日)	10,584	30	138	1.3	3.6	0.0	97.9	48.0
11期(2019年11月20日)	10,558	30	4	0.0	3.2	0.0	97.9	43.8
12期(2020年2月20日)	10,604	30	76	0.7	3.2	0.0	97.9	41.4
13期(2020年5月20日)	10,188	30	△ 386	△3.6	1.7	0.0	97.8	39.2
14期(2020年8月20日)	10,439	30	281	2.8	2.4	0.0	97.9	37.4
15期(2020年11月20日)	10,464	30	55	0.5	2.4	0.0	97.8	35.3
16期(2021年2月22日)	10,436	30	2	0.0	2.3	0.0	97.8	33.2
17期(2021年5月20日)	10,392	30	△ 14	△0.1	2.1	0.0	97.8	29.4
18期(2021年8月20日)	10,332	30	△ 30	△0.3	1.9	0.0	97.9	27.7
19期(2021年11月22日)	10,268	30	△ 34	△0.3	1.7	0.1	97.8	24.0
(償還時) 20期(2022年2月21日)	(償還価額) 10,241.55	0	△26.45	△0.3	1.6	-	-	21.1

※基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

※受益者利回りは、基準価額(累計分配金込み)の当初元本に対する騰落率を年率換算したものです。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

※2021年9月21日のシステム統合により、小数点以下の端数処理等、計算ロジックの一部が変更となっています。

**■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移**

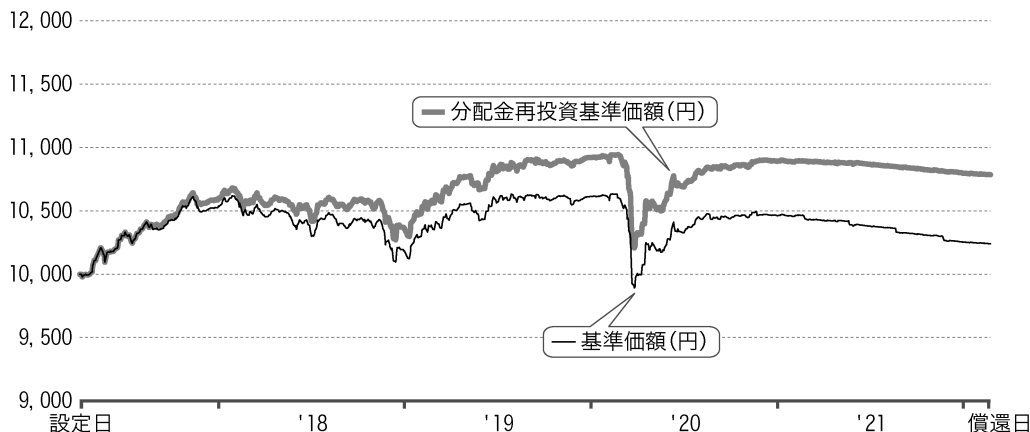
決算期	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	投資信託 証券組入 比 率
			騰 落 率		
第19期	(期 首) 2021年8月20日	円 10,332	% —	% 0.0	% 97.9
	8月末	10,328	△0.0	0.1	97.9
	9月末	10,315	△0.2	0.1	98.0
	10月末	10,304	△0.3	0.1	98.3
	(期 末) 2021年11月22日	10,298	△0.3	0.1	97.8
第20期	(期 首) 2021年11月22日	10,268	—	0.1	97.8
	11月末	10,262	△0.1	0.1	98.2
	12月末	10,253	△0.1	0.1	98.2
	2022年1月末	10,245	△0.2	0.1	98.3
	(償 還 時) 2022年2月21日	(償還価額) 10,241.55	△0.3	—	—

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

設定以来の運用状況(設定日(2017年3月31日)から償還日(2022年2月21日)まで)

設定以来の基準価額の推移



前作成期までの概略(設定日(2017年3月31日)から第9作成期末(2021年8月20日)まで)

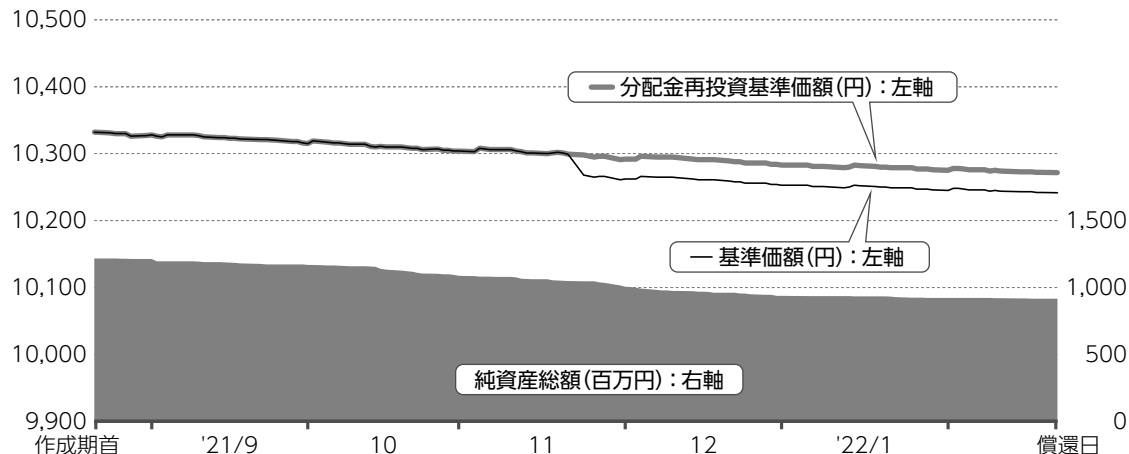
当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の企業が発行するハイブリッド証券等に投資しました。実質組入外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いました。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堅調な経済データや底堅い企業業績を背景にコーポレート・ハイブリッド市場が上昇したこと</li> <li>・ 米国と欧州の中央銀行が緩和的な金融政策を維持したこと</li> <li>・ 米国大統領選挙および上下院選挙の結果や、新型コロナウイルスワクチンの接種進展を受けて投資家のリスク回避姿勢が弱まり、コーポレート・ハイブリッド市場が上昇したこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年3月に新型コロナウイルス感染拡大を受けてコーポレート・ハイブリッド市場が下落したこと</li> </ul>

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年8月21日から2022年2月21日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	10,332円
償還日	10,241円55銭 (当作成期既払分配金30円(税引前))
騰落率	-0.6% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※単位型投信の場合、実際には分配金は再投資されませんので留意ください。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2021年8月21日から2022年2月21日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の企業が発行するハイブリッド証券等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いました。

### 下落要因

- 保有銘柄が順次コール償還(期限前償還)を迎え、キャッシュ保有の割合が増加したこと

投資環境について(2021年8月21日から2022年2月21日まで)

コーポレート・ハイブリッド市場は、下落しました。

期間の初めより10月にかけて、高インフレの長期化懸念が根強い中、F R B (米連邦準備制度理事会)やE C B (欧州中央銀行)が金融政策の正常化に着手するとの見方が一段と強まり、欧米の長期金利は上昇しました。コーポレート・ハイブリッド証券市場は、金利上昇がマイナスに寄与し、小幅に下落しました。

11月下旬には、変異ウイルス(オミクロン型)が新たに確認されたことに伴い、景気の先行き不透明感やリスク回避姿勢が強まりました。

しかし、12月中旬以降、変異ウイルスの重症化リスクが低いとの認識が広がり、警戒感が後退したことや、金融政策正常化の進展が示唆されたことに伴い、欧米の長期金利は上昇に転じました。一方で、クレジットスプレッド(国債に対する上乗せ金利)が縮小した

ことから、コーポレート・ハイブリッド証券市場は、上昇しました。

1月は、インフレ抑制に向け、米国ではF O M C (米連邦公開市場委員会)で3月の利上げ開始が示唆されたことなどから、欧米の長期金利は大幅に上昇しました。また、欧米債のイールドカーブはフラット化(長短金利差の縮小)が進んだことに加えて、クレジットスプレッドは若干拡大したことから、コーポレート・ハイブリッド証券市場は下落しました。

2月は、インフレ高進による金融引き締め加速化懸念から、欧米の長期金利は上昇基調を強めていたものの、ウクライナ情勢の緊迫化によるリスク回避姿勢から、欧州の長期金利は上昇が一服しました。コーポレート・ハイブリッド市場は下落し、クレジットスプレッドは拡大しました。

ポートフォリオについて(2021年8月21日から2022年2月21日まで)

当ファンド

期初より、「L O ファンズⅣ－コーポレート・ハイブリッド4(J P Yヘッジクラス)」を高位に組み入れました。

L O ファンズⅣ－コーポレート・ハイブリッド4  
(J P Yヘッジクラス)

世界各国の企業が発行するハイブリッド証券を中心としたポートフォリオを維持して運

用を行ってまいりました。11月にOMV、12月にヴォノヴィアが全額コール償還を迎え、以降、当該ファンドの償還までキャッシュでの運用を行いました。

## マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について(2021年8月21日から2022年2月21日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

### 分配金について(2021年8月21日から2022年2月21日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第19期
当期分配金	30

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、分配可能額および基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたしました。

なお、第20期については、償還のため該当事項はございません。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。



## 1万口当たりの費用明細(2021年8月21日から2022年2月21日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	39円	0.379%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は10,284円です。
( 投 信 会 社 )	(12)	(0.114)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
( 販 売 会 社 )	(26)	(0.251)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(1)	(0.014)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の発行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.009	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
( 株 式 )	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(1)	(0.009)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
( 株 式 )	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 公 社 債 )	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.001)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
( そ の 他 )	(0)	(0.001)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	40	0.390	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

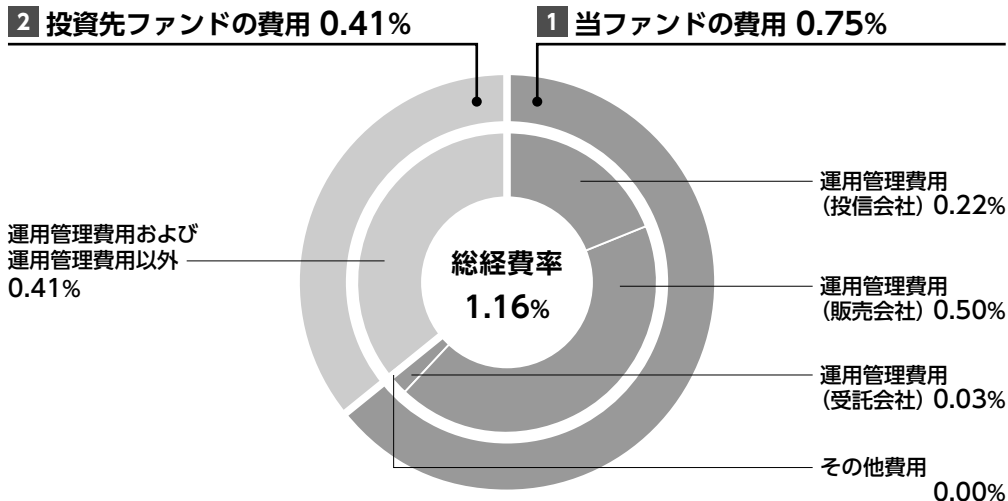
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



<b>総経費率 (1 + 2)</b>	<b>1.16%</b>
---------------------	--------------

<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	<b>0.75%</b>
----------------------	--------------

<b>2 投資先ファンドの費用の比率</b>	<b>0.41%</b>
------------------------	--------------

※ **1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.16%です。

## ■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2021年8月21日から2022年2月21日まで)

### (1) 投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	LOファンズIV-コーポレート・ハイブリッド4 (JPYヘッジドクラス)	-	-	28,063	277,558
		(-)	(-)	(91,542)	(904,528)

※金額は受渡し代金。

※( )内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

### (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
マネー・トラスト・マザーファンド	-	-	871	867

## ■ 利害関係人との取引状況等(2021年8月21日から2022年2月21日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年8月21日から2022年2月21日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2022年2月21日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
L OファンズIV-コーポレート・ハイブリッド4 (JPYヘッジドクラス)	119,605.8639	—	—	—
合計	119,605.8639	—	—	—

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種類	作成期首	作成期末	
	口数	口数	評価額
マネー・トラスト・マザーファンド	千口 871	千口 —	千円 —

■ 投資信託財産の構成

(2022年2月21日現在)

項目	作成期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 918,868	% 100.0
投資信託財産総額	918,868	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額または償還価額の状況

(2021年11月22日) (2022年2月21日)

項目	第19期末	償還時
<b>(A) 資産</b>	<b>1,054,301,082円</b>	<b>918,868,147円</b>
コール・ローン等	30,822,777	918,868,147
投資証券(評価額)	1,022,610,492	—
マネー・トラスト・マザーファンド(評価額)	867,813	—
<b>(B) 負債</b>	<b>8,413,617</b>	<b>1,721,465</b>
未払収益分配金	3,055,822	—
未払解約金	3,323,012	—
未払信託報酬	2,034,116	1,716,475
未払利息	—	1,166
その他未払費用	667	3,824
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,045,887,465</b>	<b>917,146,682</b>
元本	1,018,607,403	895,515,249
次期繰越損益金	27,280,062	—
償還差損益金	—	21,631,433
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,018,607,403口</b>	<b>895,515,249口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>10,268円</b>	<b>0</b>
1万口当たり償還価額(C/D)	<b>0</b>	<b>10,241円55銭</b>

※設定年月日 2017年3月31日  
 設定元本額 4,251,357,283円  
 作成期首元本額 1,178,291,072円  
 作成期末元本残存率 21.1%

※上記表中の次期繰越損益金および償還差損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額または償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2021年8月21日) (自2021年11月23日)  
 (至2021年11月22日) (至2022年2月21日)

項目	第19期	第20期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>6,314,012円</b>	<b>△ 12,755円</b>
受取配当金	6,318,248	—
受取利息	—	192
支払利息	△ 4,236	△ 12,947
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 1,350,772</b>	<b>△ 12,623,229</b>
売買損	△ 1,350,772	△ 12,623,229
<b>(C) 有価証券評価差損益</b>	<b>△ 7,038,118</b>	<b>11,585,154</b>
<b>(D) 信託報酬等</b>	<b>△ 2,207,257</b>	<b>△ 1,778,273</b>
<b>(E) 当期損益金(A+B+C+D)</b>	<b>△ 4,282,135</b>	<b>△ 2,829,103</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>39,117,108</b>	<b>27,280,062</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 4,499,089</b>	<b>△ 2,819,526</b>
<b>(H) 合計(E+F+G)</b>	<b>30,335,884</b>	<b>21,631,433</b>
<b>(I) 収益分配金</b>	<b>△ 3,055,822</b>	<b>—</b>
次期繰越損益金(H-I)	27,280,062	—
償還差損益金	—	21,631,433

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第19期
(a) 元本超過額	30,335,884円
(b) 差引配当等収益額	4,108,130円
(c) 受益権総口数	1,018,607,403口
(d) 期中平均受益権総口数	1,094,298,339口
(e) 分配可能額((b)×(c)/(d))	3,823,976円
(f) 分配金対象収益	30,335,884円
※(a)元本超過額と(e)分配可能額のいずれが多い額を表示	
(g) 1万口当たり分配金対象収益	297.81円
(h) 分配金	3,055,822円
(i) 分配金単価	30円

## ■ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2017年3月31日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年2月21日		資産総額	918,868,147円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	1,721,465円
受益権口数	4,251,357,283口	895,515,249口	△3,355,842,034口	純資産総額	917,146,682円
元本額	4,251,357,283円	895,515,249円	△3,355,842,034円	受益権口数	895,515,249口
				1万円当たり償還金	10,241円55銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	4,248,420,712	4,310,706,799	10,147	0	0.00
第2期	4,140,164,280	4,286,976,399	10,355	30	0.30
第3期	3,934,677,155	4,133,705,094	10,506	30	0.30
第4期	3,655,686,886	3,834,803,895	10,490	30	0.30
第5期	3,266,091,061	3,405,941,550	10,428	30	0.30
第6期	2,910,823,593	3,022,774,535	10,385	30	0.30
第7期	2,656,245,581	2,732,328,184	10,286	30	0.30
第8期	2,497,132,841	2,589,709,633	10,371	30	0.30
第9期	2,282,734,940	2,391,302,330	10,476	30	0.30
第10期	2,044,085,314	2,163,480,797	10,584	30	0.30
第11期	1,863,692,470	1,967,744,497	10,558	30	0.30
第12期	1,763,541,078	1,870,033,605	10,604	30	0.30
第13期	1,666,537,614	1,697,873,023	10,188	30	0.30
第14期	1,593,166,689	1,663,057,790	10,439	30	0.30
第15期	1,502,677,683	1,572,335,166	10,464	30	0.30
第16期	1,414,356,647	1,475,953,896	10,436	30	0.30
第17期	1,251,651,494	1,300,695,025	10,392	30	0.30
第18期	1,178,291,072	1,217,408,180	10,332	30	0.30
第19期	1,018,607,403	1,045,887,465	10,268	30	0.30
信託期間中1万円当たり総収益金及び年平均収益率				781.55円	1.59%

## ■ 分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税引前)	第19期
	30円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## ■ 組入れ投資信託証券の内容

### 投資信託証券の概要

ファンド名	LOファンズIV-コーポレート・ハイブリッド4（JPYヘッジドクラス）
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人（円建て）
主要投資対象	主として世界各国の企業が発行するハイブリッド証券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各国の企業が発行するハイブリッド証券等に投資し信託財産の成長を目指します。</li> <li>・組入ハイブリッド証券が繰上償還等された場合には、普通社債や国債等にも再投資することがあります。</li> <li>・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。</li> </ul>
主な投資制限	・同一企業の発行するハイブリッド証券等への投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。
決算日	年1回決算（毎年9月30日）
分配方針	毎年2月、5月、8月、11月の9日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針です。ただし、分配を行わないことがあります。
運用報酬等	純資産総額に対して年0.21%程度* *年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
管理およびその他の費用	ファンドの管理、保管、設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
信託財産留保額	一部解約時に0.3%
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	ロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッド
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「LOファンズIV-コーポレート・ハイブリッド4（JPYヘッジドクラス）」をシェアクラスとして含む「LOファンズIV-コーポレート・ハイブリッド4」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益及び純資産変動計算書(2019年10月1日から2020年9月30日まで)

	(単位：日本円)
期首純資産価値	2,019,143,531
収益	
債券利息（純額）	63,289,057
銀行利息	5,175
	63,294,232
費用	
管理報酬	3,711,467
保管、管理事務代行および名義書換代理人報酬	3,180,786
年次税	175,677
銀行利息およびその他費用	470,947
	7,538,877
純投資収益	55,755,355
投資有価証券売却実現損失（純額）	(22,749,281)
為替実現利益（純額）	5,225,148
為替先渡取引実現損失（純額）	(52,376,447)
純実現損失	(14,115,225)
投資有価証券未実現評価損益の純変動	54,744,739
為替先渡取引未実現評価損益の純変動	(36,765,459)
運用に伴う純資産の純増加	3,864,055
分配金の支払額	(43,661,850)
平均化を含む募集（解約）額（純額）	(396,039,638)
期末純資産価値	1,583,306,098



**■ 投資有価証券明細表(2020年9月30日現在)**

株式数または 額面価額	銘柄	通貨	時価 (単位：円)	純資産 構成比(%)
投資有価証券 - 時価			1,284,190,557	81.11
公式の証券取引所に上場している、 もしくは他の規制対象市場で売買されている譲渡可能有価証券			1,284,190,557	81.11
債券			139,350,200	8.80
オーストラリア			139,350,200	8.80
1,100,000 BHP BILLITON	4.75 15-76 22/04A	ユーロ	139,350,200	8.80
変動利付債			1,144,840,357	72.31
オーストリア			136,354,188	8.61
1,050,000 OMV AG	FL. R 15-XX 19/12A	ユーロ	136,354,188	8.61
ドイツ			144,637,594	9.14
1,150,000 ENBW ENERGIE	FL. R 14-76 02/04A	ユーロ	144,637,594	9.14
ルクセンブルク			140,768,113	8.89
1,120,000 SES SA	FL. R 16-XX 02/01A	ユーロ	140,768,113	8.89
オランダ			424,613,143	26.82
1,100,000 ENECO HOLDING SUB	FL. R 14-XX 01/12A	ユーロ	139,218,159	8.79
1,150,000 VOLKSWAGEN INTL FIN	FL. R 14-XX 24/03A	ユーロ	143,909,667	9.09
1,100,000 VONOVIA FINANCE BV	FL. R 14-XX 17/12A	ユーロ	141,485,317	8.94
英国			298,467,319	18.85
1,200,000 CENTRICA SUB	FL. R 15-76 10/04A	ユーロ	149,016,479	9.41
1,200,000 SSE PLC	FL. R 15-XX 01/04A	ユーロ	149,450,840	9.44

通貨	購入額	カウンター・ パーティー	満期日	通貨	売却額	未実現評価益/ (損) (単位：円)	純資産 構成比(%)
為替先渡取引明細						19,543,454	1.23
ユーロ	103,500	UBS	2020年10月9日	日本円	13,009,122	(200,206)	(0.01)
日本円	1,334,576,299	UBS	2020年10月30日	ユーロ	10,622,000	19,743,660	1.24

# マネー・トラスト・マザーファンド

第6期（2020年10月13日から2021年10月12日まで）

信託期間	無期限（設定日：2016年1月29日）
運用方針	■主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		公社 入 比	債 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率 %			
2期（2017年10月12日）	9,992		△0.1		90.6	10
3期（2018年10月12日）	9,986		△0.1		68.2	10
4期（2019年10月15日）	9,980		△0.1		68.7	10
5期（2020年10月12日）	9,970		△0.1		74.8	12
6期（2021年10月12日）	9,962		△0.1		70.1	15

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

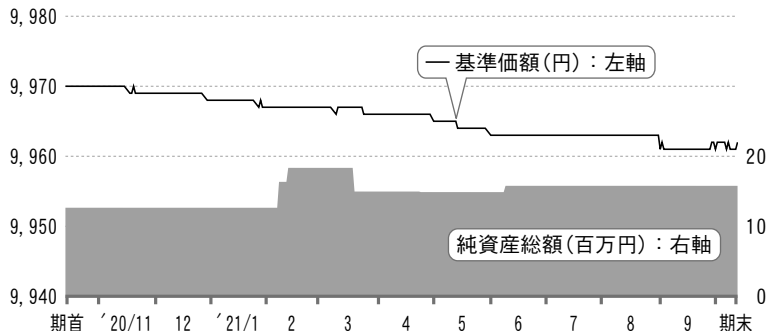
年 月 日	基 準 円	価額		公 社 入 比	債 率
		騰 落	率 %		
(期首) 2020年10月12日	9,970				
10月末	9,970		0.0		74.8
11月末	9,969		△0.0		74.7
12月末	9,968		△0.0		74.8
2021年1月末	9,967		△0.0		74.8
2月末	9,967		△0.0		51.5
3月末	9,966		△0.0		63.1
4月末	9,965		△0.1		66.9
5月末	9,963		△0.1		69.7
6月末	9,963		△0.1		65.7
7月末	9,963		△0.1		65.6
8月末	9,961		△0.1		70.2
9月末	9,961		△0.1		70.1
(期末) 2021年10月12日	9,962		△0.1		70.1

※騰落率は期首比です。

# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2020年10月13日から2021年10月12日まで）

### 基準価額等の推移



期首	9,970円
期末	9,962円
騰落率	-0.1%

## ▶ 基準価額の主な変動要因（2020年10月13日から2021年10月12日まで）

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

### 下落要因

- ・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

## ▶ 投資環境について（2020年10月13日から2021年10月12日まで）

短期金利は低下しました。

物価の上昇率がマイナス圏で推移したことや、新型コロナウイルスの感染が再拡大したことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を据え置き、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

日銀が需給動向を勘案し、短期国債の買入れ額を調整したことから、国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から7月まで横ばいで推移しました。しかし、7月中旬以降は短期国債の発行が大幅に減額され、徐々に需給がひっ迫したことから、8月中旬に利回りは低下しました。

### ▶ ポートフォリオについて (2020年10月13日から2021年10月12日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

### ▶ ベンチマークとの差異について (2020年10月13日から2021年10月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2020年10月13日から2021年10月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.004% (0.004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	0	0.004	

期中の平均基準価額は9,966円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2020年10月13日から2021年10月12日まで)

#### 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	特殊債券	11,106	(9,400)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2020年10月13日から2021年10月12日まで)

### 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公 社 債						

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

## ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年10月13日から2021年10月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ■ 組入れ資産の明細 (2021年10月12日現在)

### 公社債

#### A 債券種類別開示

##### 国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
特 殊 債 券 (除く金融債券)	千円 11,000 (11,000)	千円 11,057 (11,057)	% 70.1 (70.1)	% - (-)	% - (-)	% - (-)	% 70.1 (70.1)
合 計	11,000 (11,000)	11,057 (11,057)	70.1 (70.1)	- (-)	- (-)	- (-)	70.1 (70.1)

※( )内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

#### B 個別銘柄開示

##### 国内(邦貨建)公社債

種 類	銘	柄	期		末	
			利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特 殊 債 券 (除く金融債券)	152	政保道路機構	% 1.1000	千円 2,400	千円 2,405	2021/12/28
	159	政保道路機構	0.9000	2,800	2,811	2022/03/18
	163	政保道路機構	0.9010	2,800	2,816	2022/05/31
	40	政保地方公共団	0.8190	3,000	3,023	2022/09/16
合		計	-	11,000	11,057	-

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

## ■ 投資信託財産の構成

(2021年10月12日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	11,057千円	70.1%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,719	29.9
投 資 信 託 財 産 総 額	15,776	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	15,776,203円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,700,618
公 社 債 (評価額)	11,057,141
未 収 利 息	18,444
(B) 負 債	175
そ の 他 未 払 費 用	175
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	15,776,028
元 本	15,836,660
次 期 繰 越 損 益 金	△ 60,632
(D) 受 益 権 総 口 数	15,836,660口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	9,962円

※当期における期首元本額12,685,274円、期中追加設定元本額6,622,216円、期中一部解約元本額3,470,830円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2017-03	871,211円
ライフ・ジャーニー（かしこく育てるコース）	2,543,560円
ライフ・ジャーニー（かしこく使うコース）	2,453,434円
ライフ・ジャーニー（充実して楽しむコース）	721,009円
人生100年時代・世界分散ファンド（資産成長型）	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド（3%目標受取型）	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド（6%目標受取型）	100,141円
人生100年応援ファンド（資産成長コース）	64,109円
人生100年応援ファンド（ちよっぴり受取コース）	32,055円
人生100年応援ファンド（おもいっきり受取コース）	24,041円
MF S・グローバル株式ファンド	100,181円
テトラ・エクイティ	1,503,157円
ボンド・ゼロトリプル（予想分配金提示型）	300,632円
ボンド・ゼロトリプル（資産成長型）	300,632円
テトラ・ネクスト	3,712,251円
MF S米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）	1,003,311円
MF S米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	1,003,311円
PIMCOグローバル・ターゲット戦略債券ファンド2021-06（限定追加型）	903,343円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2020年10月13日 至2021年10月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	98,990円
受 取 利 息	103,125
支 払 利 息	△ 4,135
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 110,738
売 買 損 益	△ 110,738
(C) そ の 他 費 用 等	△ 525
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 12,273
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 37,607
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 11,464
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 22,216
(H) 合 計 (D + E + F + G)	△ 60,632
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△ 60,632

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。